

☆ねこのくらし

◎社会生活

ねこの生態は単独生活が基本ですが、家ねこは家畜化されていることによって生理、生態が変化することがあります。一軒の家の中で複数のねこが暮らす場合、エサ場、休息場所を共有する場合、コミュニティを形成するなどして生活する場合などがあります。

◎行動範囲

ねこは各々が一定の広さの行動範囲を持っていますが、家ねこは空間的広がりとしての範囲は、主に自宅とその周辺の庭程度となっています。

「なわばり」とは、生きていくために必要な食べ物や水を確保し、発情期には異性と出会い、安心して子育てをするのに必要な空間のことですが、野良猫や外飼いのねこでは、「なわばり」を共有しているため、毎日のパトロールが欠かせません。完全室内外のねこでは、家の中だけがなわばりになります。

◎マーキング行動

【 擦り付け 】

甘えと親愛の情を示すため、幼いねこは母ねこに尾を立てて体を擦り付けます。成ねこが飼い主や仲間になづくときも同様の行動がみられます。顔から体にかけてスリスリするねこを見たことがあると思います。これは、顔から分泌される匂い物質を擦り付け、情報を伝達するための行動です。

【 爪研ぎ 】

ねこは2つの理由から爪研ぎをされると考えられています。

1つは、適当な間隔で爪を研ぎ、利用しやすくすること。もう1つは、マーキングです。爪研ぎによるマーキングの傷は視覚的な効果、足の裏から分泌される匂いは嗅覚的な効果があるようです。

【 尿マーキング 】

オスねこは性成熟すると、尾を上げて柱などに尿を噴射し、自分の縄張りを主張します。メスねこでも発情期になるとトイレ以外の場所で尿をしてマーキングすることがあります。

また、最近の研究で不安や欲求不満が高まるとマーキングを行うことも指摘されています。

【 毛づくろい 】

いつも体を舐めたり前肢で顔を洗うような動作をしますが、狩りをする際に獲物に匂いで感づかれないために必要な習性です。舌の表面は、細かい汚れまで取り除くことができるよう、ザラザラしています。ねこ同士が舐め合う行動は、気のあった仲間同士であることを示します。